

請 願 文 書 表

受 理 番 号	第 4 号
受 理 年 月 日	令和5年12月1日
件 名	学校給食に関する請願
請 願 者 の 住 所 及 び 氏 名	伊丹市西台2-4-10 新日本婦人の会 伊丹支部 支部長 淡本 潤子
請 願 の 要 旨	別 紙
紹 介 議 員 名	日本共産党伊丹市議会議員団 服部 好廣 高塚 伴子
付 託 委 員 会 名	文教福祉常任委員会

令和5年12月1日

伊丹市議会議長

戸 田 龍 起 様

請 願 者

住 所 伊丹市西台2-4-10

氏 名 新日本婦人の会 伊丹支部

支部長 淡本 潤子

紹 介 議 員 日本共産党伊丹市議会議員団 服部 好廣

紹 介 議 員 高塚 伴子

学校給食に関する請願

【請願趣旨】

円安やウクライナ情勢、気候危機などにより、物価が高騰しているにもかかわらず、働く人の賃金は上がらず、子育て世代の暮らしは大変です。日本の将来にとって、子どもを育てる環境を整備し、人口減少対策のために義務教育期間の教育費の負担を軽減していかなければならないことは急がれる課題です。そのために、伊丹市も子どもの医療費無償化の拡大など、子育て世代の支援拡充を行ってこられました。残る問題の一つに、義務教育期間の学校給食の無償化があります。伊丹市議会におかれましても、昨年6月議会において、国に対して給食の無償化を求める意見書を提出されました。

子どもたちの健全な食生活の確立のために食育が重要な役割を果たすことを踏まえ、子どもたち自身が食べる喜びと生きる力を身につけ、子どもたちの健やかな発達を保障するためにも、義務教育における学校給食の無償化を求めます。

一部補助の市町が全国的に拡大している事を考慮いただき、国の制度の無償化を待つのではなく、伊丹市独自の施策を求めます。

以上の趣旨から下記事項について請願いたします。

[請願事項]

1. 学校給食の無償化に向けて、可能なところから伊丹市独自の施策を求めます。